

## 第 49 回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

<b>ゼミ名</b>	林健太ゼミⅡ	<b>チーム名</b>	金の亡者～健太と愉快的仲間達～
<b>タイトル</b>	学生の副業、そしてその成果		
<b>テーマ群</b>	g)その他		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p><b>研究背景と目的：</b></p> <p>「収入を増やしたい」。これは社会人に限らず、あらゆる学生が持つ考えであろう。それに加えて学生の立場では収入源は殆どがアルバイトによるものである。アルバイトを複数かけ持つ場合はあるが、その他に雇用されない形での収入を得ている者は少ないと感じる。</p> <p>社会人にとって副業というものはアルバイトに分類される事が多いが、本研究では、学生が勉学以外の空き時間を用いて収入を得るための、アルバイト以外の方法を副業と定義し、実践してみることにした。</p> <p>「人生 100 年時代」や「老後のコストは 2,000 万円」と言われ将来の生活に対して不安があらわれている中で、学生のうちに貯蓄を増やすという技能、収入を新たに獲得する技能を身に着ける事は必須になる可能性がある。また、さらに多くの収入を求める学生にとって、扶養家族から外れる「103 万円の壁」などの障壁は多い。ゆえに学生規模という条件設定の上で、副業による所得の向上を目的とした本発表を行う。</p> <p><b>発表内容と成果：</b></p> <p>発表では、(1) 何故副業を行う必要があるのか、(2) そもそも学生にとっての副業とは何か、(3) 副業をするにあたっての注意点、そして (4) 我々が定めた期間内でどのような副業を行うことが出来たのか、について紹介する。具体的には、趣味を基軸とした副業として「TCG (トレーディングカードゲーム) の転売」、公益ゲームによる収入増強を狙った「競馬」、現代の副業の代表格である「FX」、収入の大小よりも時間効率を意識した「ポイントサイトの利用」の事例を挙げる。それぞれ実行した学生の感想を交えつつ、各々成功、失敗体験を伝える事によって、学生の副業は意味あるものか否かという事を示しこの研究の成果を示す。</p>		